

煌

第44号

発行◆令和4年1月

公益社団法人 向日市シルバー人材センター

☎617-0006 京都府向日市上植野町南開66-1 TEL.075-932-3987 FAX.075-934-8600

URL: <http://muko-sjc.com/> e-mail: muko@sjc.ne.jp



本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

謹賀新年

写真撮影：「希望の朝日」 上植野町 末元 修次



絵：寺戸町 久保田 和美



絵：寺戸町 中島 清和



ごあいさつ

理事長 嶋田善久



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、令和4年の初春をご家族ともどもお健やかに迎えたいこととお慶び申し上げます。

昨年は、3回にわたり緊急事態宣言が出されるなど、新型コロナウイルス感染症に明け暮れた二年でした。

当センターでも、一昨年に比べると契約額、就業率ともやや回復したものの、就業機会の減少により十分な就業が確保できない時期があり、ご迷惑、ご心配をおかけいたしました。

さらに、定時総会の規模縮小、親睦旅行や各種講習会の開催中止など会員同士のコミュニケーションもままならず、厳しい事業運営を余儀なくされました。

今のところ、2回のワクチン接種もあり感染状況は小康状態を保っているものの、海外で変異株が出現するなど第6波の感染拡大も懸念されております。

このコロナ禍の大変厳しい状況下で、感染防止に努めながら事業をいかに継

続していくか、みんなで知恵を出し合っ
て運営してまいりたいと考えております。

さて、我が国においては、人口減少、
少子高齢化が進展し、人生百年時代を
迎えた今、誰もが生涯現役で活躍でき
る社会の実現が求められています。

このような中で、シルバー人材センタ
ーは地域の日常生活に密着した就業機
会を提供することにより、高齢者の「居
場所」と「出番」を創出し、「生涯現
役社会」の実現を果たす役割を担うと
ともに、高齢者の健康や生きがいの充
実、社会参加の促進、地域社会の活性
化に寄与しているところであります。

当センターにおきましても、高齢者
宅での日常生活支援、留守家庭児童会
の担い手などの子育て支援、また、コロ
ナ対策として小中学校の消毒業務など
市の施策や地域ニーズに対応した事業
に積極的に取り組んでいるところであ
ります。

また、喫緊の課題である会員の拡大
につきましても、現在、全国的に取り
組んでいる「会員百万人計画」に基づ
き、新規会員、特に女性会員の拡大を
目指して、様々な広報・啓発活動を展
開するとともに、魅力あるセンターづく
りを推進するため、役員員一丸となって
努力してまいります。

結びにあたり、新しい年が皆様方に
とりまして素晴らしい一年となりますよ
う心からお祈り申し上げ新年のごあい
さつといたします。

新年のご挨拶

向日市長 安日音



あけましておめでとうございます。公
益社団法人向日市シルバー人材
センターの皆さまにおかれましては、
清々しい新春を健やかに迎えたいと
と、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より見守り活動や「向
日地域支え合いヘルプサービス」
へのご協力など、「住み慣れた地域
で高齢者がいきいきと安心して暮ら
せるまち」の実現にご尽力いただい
ておりますことに厚く御礼申し上げ
ます。

さて、昨年は新型コロナウイルス
感染症の拡大に伴う緊急事態宣言や、
まん延防止等重点措置の影響により、
日常生活が制約を受けるなど大変厳
しい状況の中、ワクチン接種や任意
でのPCR検査費用の一部支援など、
市民の皆さまの命と安心安全な暮ら
しを守る施策を実施するとともに、
市役所本館新庁舎の開設や向日市パ
ートナーシップ宣誓制度の創設など、

新たな歩みを進めることができた
一年となりました。

本年もこの歩みを止めることな
く、将来にわたり向日市が継続し
て発展していくために欠かすこと
のできないJR向日町駅東口開設
などの事業を進め、誰もが快適で、
安心・安全・健康に暮らし続けら
れるまちづくりを進めてまいりま
す。

会員の皆さまにおかれましては、
今後も豊富な知識やご経験を活か
し、地域社会を支える担い手とし
て、引き続きお力添えをいただき
ますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染
症の終息につきましても未だ見通
せない状況ではありますが、市民
の皆さまが新たな一年を安心して
過ごせるように、職員と一丸にな
り、追加のワクチン接種をはじめ、
どのような状況にも臨機応変に対
応してまいります。

結びにあたり、本年が会員の皆
様にとりまして、希望に満ちた幸
多い年となりますとともに、貴セ
ンターのますますのご発展を祈念
いたしまして、新年のご挨拶とさ
せていただきます。



シルバー人材センター普及啓発活動



↑たくさんの落ち葉も手際よく皆さんで集めました

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取り組みの一環として、ボランティア清掃を行いました。これは、シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く市民の皆様や関係機関等に理解していただくとともに、高齢者のセンターへの加入の働きかけ及び就業拡大を目的に、毎年この時期に全国的に普及啓発活動を行っているものです。ボランティア清掃は、11月21日(日)に、会員・役員29名が参加し、センター周辺、築地跡公園の落ち葉掃き、阪急西向日駅周辺のゴミ拾いを実施し、美化に努めました。



↑歩道の植え込みも隅々まで掃除しました

竹ぼうきとゴミ袋を手に、赤や黄色に染まった落ち葉のほか、空き缶やタバコの吸い殻などを1時間かけてゴミ袋30袋程収集しました。
お天気にも恵まれ、「久しぶりに体を動かせて良かった」「皆さんとおしゃべりしながら楽しい時間でした」と、1時間では足りないくらい皆さん熱心に活動していただきました。
ご協力ありがとうございました。



↑「人の尊厳を守る」ことについて改めて考えさせられる貴重な時間でした

研修では「部落差別はどのような文化を地域に育むためには」などのお話がありました。
当センターも、一人ひとりが、自分自身の問題として考え、意識や行動を見つめ直し差別のない明るい社会の実現をめざし取り組んでいきたいと思います。

「今日の人権課題と地域社会の役割」と同和問題から考える」をテーマに、講師の世界人権問題研究センター研究員、奈良大学文学部 井岡康時氏を迎え研修がおこなわれました。

12月10日(金)長岡京市中央公民館で京都府商工労働観光部主催の人権研修が乙訓2市1町のシルバー人材センターを対象に開催され、当センターから会員・役員23名が参加しました。

人権研修

安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会では、昨年の夏期に実施しました安全パトロールにおいて、チェックポイントを業務別にまとめました。今後の安全就業の参考にしていただきますようお願いいたします。

この他、八幡市シルバー監修、京都府シルバー連合会が作成した安全就業DVDを視聴しました。業務別にわかりやすく安全対策を説明したもので、大変参考になりました。

また熱中症については、年々少なくなっており、引き続き対策に力を入れていきたいと思えます。会員の皆様、安全就業に努めていただきますようお願いいたします。

分別収集指導業務

物集女公民館前ほか

●ゴミの前日出しが比較的多い地域ではあるが、前日にパトロールがされた現場であったため、前日に出されたゴミが少なく、比較的スムーズに作業をされていた。

●前日出しの処理も終わり、ゴム手袋を外されていた。利用者は少なかったが、作業中は怪我の危険もあるため必ず手袋を着用することが望ましい。

交通指導業務

第2向陽小学校区

●御所海道の交差点においては、保護者が北側、

会員が南側に立たれていた。30m程南側にも交差点があり、東側からくる児童と合流することもあり、横断後にそちらの方にも移動されていた。裏道なので車の通行もあるので、可能であればもう一人配置できると、より安全に通学できると思われる。



→車が多い場所も児童達が安全に渡れるよう見守りをしています

消毒業務

向陽小学校、第6向陽小学校

●業務中の水分補給について一人の会員は水分補給をしておらず、7月に入り気温も上昇し熱中症の危険も出てくることから、今後は適宜水分補給もするようにお願いした。

●階段の手すりを消毒するとき、降りる際に手すりには気をとられ危ない時があるとのこと、十分注意する必要がある。

植木剪定業務

個人宅

●車通りの多い現場においては、カラーコーン等を立てて作業中であることを示す方が良かったと思われる。

●半袖で作業されていたので、安全面から長袖での作業が望ましい。

●複数人での作業ということで道具の置き方がまばらであった。安全面で考えると、集約できれば良かった。



→「安全はすべてに優先する」をモットーにパトロールをおこなっています

除草業務

車塚古墳

●この時期、ゴーグルだと曇って視界が悪くなることもあるため、フェイスガードを使用されていたのは良かった。

●使用していた低速回転刃は、溝も少なく石飛びのしにくい構造のため、積極的に使用していきたい。

事故報告

令和3年7月から12月に発生した事故は以下のとおりです。

- 除草作業中、休憩中嘔吐し、呼びかけの反応が弱く顔色も悪かったため、救急車を要請。診察の結果熱中症と判明。(75歳 男性)
- 除草作業中、アシナガ蜂に左腕の肩から肘の部分で4箇所刺された。1日経っても腫れと痒みが引かないので通院。(73歳 男性)
- 看板取り外し作業において、来年度予定の見積の段階で、誤って作業してしまい、原状回復の必要が生じた。(76歳 男性)
- 店内への入室時に暗証番号を押す際、前のめりになり前方バイクに接触し、連なって駐輪中のバイク4台が転倒し、うち2台のミラー等が破損した。(76歳 女性)
- バイクで就業先の事前の下見の帰り、右折時に走行中の車の側面に接触し転倒。(71歳 女性)

令和3年度 安全・適正就業推進大会

コロナの影響により、今年度も昨年度に続き安全委員長他2名での参加となりました。女子駅伝の京都チームの監督である渡部博子氏の講演があり、市民の方が選手の待機場所の提供をしてくださったり、多くの声援が力になるなど、京都での開催の強さの秘訣を教えていただきました。一昨年就任された渡部監督にとっては、前回大会はコロナで中止となり今年が初陣となります。また、八幡市シルバー監修のDVDの上映や、昨年安全就業において全国表彰を受賞した精華町シルバーの安全委員会の取り組みについて発表がありました。



→ 渡部監督から京都チームの強さの秘訣を伺いました

安全の合言葉 『御安全に!』

上植野町 平 託治



以前、私が勤めていた会社で死者1名、重傷者1名を出す爆発事故

がありました。死亡したのは、春に京都大学大学院を出て入社2ヶ月目の社員でした。祖母、母、本人の3人家族で、やっと大学を出てこれからは楽しみをしていた矢先の出来事でした。又、悲しいことに祖母があまりのショックで寝込み、1週間後に亡くなりました。1週間で母と息子を亡くしたのです。祖母の葬儀に出席した社長がかける言葉がなかったと後日話していました。その後、全社員に向け、社長指示があり、「今後、機械はなんぼ壊してもいいが絶対怪我をするな!1億円する機械でも金を出せば買うことが出来る。しかし、人間の身体は小さな怪我でも金を出してももとに戻らない。」社長は、安全意識を高めるために、「これまででは朝来れば、「おはようございます」、帰る際は「お先に失礼します」と挨拶をしていましたが、今後は、朝は今日1日安全に仕事しましょうという意味で「御安全に」、

帰社するときも自分は帰りますが残る皆様安全に気をつけて仕事してくださいという意味で「御安全に」と言うように」とのことでした。しかし、慣れない言葉はなかなか言いづらく定着しませんでした。何ヶ月が経ち「御安全に」が定着しないことを知った社長が異常な行動に出ました。社長は、通常工場にすれば、秘書から渡されるスケジュール表通りに行動し終わればすぐ別の工場又は本社に帰るのですが、3日間工場に張り付いて2時間に1回のペースで各工場を回り、会う社員ごとに「御安全に」と声をかけました。社長から「御安全に」と言われれば「御安全に」と返すしかありません。この行動が3日間続きますとさすがに社員の間でも「御安全に」という言葉が定着し、朝「御安全に」帰る時も「御安全に」というのが当たり前になりました。このことから我々は、2つの事を学びました。

- ①安全はなにものよりも優先される
- ②トップが情熱を持って行動すれば下はついてくる

皆様も健康に気をつけ安全を心掛け日々の仕事に励みましょう。御安全に!

↓安全に作業できるよう始業前の点検について説明を受けました



11月29日、朝堂院西方官衙にて、京都府農業機械士協議会から農業機械士2名をお招きし、刈払機の安全講習会を開催し、会員8名が受講しました。
この講習会は、全国の賠償保険事故で最も多いのが、除草、草刈業務であることから、安全就業対策の一環として、「刈払機の安全な使い方について」というテーマで事故の未然防止を目的に開催したものです。

刈払機の安全講習会

就業員
募集
中!!

- ◆ 除草（公園、空き地、一般家庭）
- ◆ 植木剪定（経験者又は興味ある方）
- ◆ 植木剪定補助（剪定枝の袋詰め）

歓迎



↑使用中の注意を再確認したあと刈払機を使って実践しました

シルバー人材センターに入会し、現在、公園や一般家庭のお庭の除草作業に携わっています。鎌を使った手作業の草取りが大半ですが、広い空地では刈払機を使用する場合があります。
昨年春頃から、先輩方に操作方法を教わり使用を始めましたが、今回専門の方の指導を受けることができ、刈払機の使用は安全を最優先することを再認識できて良かったと思います。
シルバーの刈払機を使用するにあたり、講師の方の指摘もあつたように、日々の点検が事務局にも使用する会員にも不足しているように感じるので、使用する自分たちは機械の調子の良し悪しや気づいたことを事務局に伝え、情報を共有していきたいと思います。
冬の間、草は伸びませんが、また春が来て夏が来れば草も伸びるので、仲間と安全第一で、事故なくケガなく楽しく一日の仕事が終わるように、仕事をしていきたい。



刈払機講習会を受講して

上植野町 堀内 道夫

シルバー人材センターから刈払機講習会参加の声をかけていただき、秋深まる11月29日に参加しました。私は昨年2月にシルバー



生活支援講習会

昨年10月19日から20日の2日間、株式会社ニチイ学館より坂本淑子先生を迎え、向日市民体育館で「生活支援講習会」を開催しました。

この講習会は、高齢者活躍人材確保育成事業の一環といたしまして、京都府シルバー人材センター連合会と共同で開催したもので、市民ら8名が受講しました。

講習会1日目の「接遇マナー」は、訪問時の挨拶、お客様との関わりかたを学び、また午後「認知症の理解」については、認知症の方への接し方を坂本先生の実体験をもとに分かりやすく説明していただきました。



↑講師の体験談などユーモアたっぷりの楽しい講習会でした

2日目は、高齢者の心身状況の理解、車いすを使った介助の演習を行い、介護の基本を学びました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受講者数を減らし消毒や換気に気をつけながらの開催になりましたが、皆さん積極的に質問をし、演習も楽しく学びました。

当センターでは、平成29年度から、高齢者等の居宅におきまして、掃除、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活支援について、向日市と「地域支え合いヘルプサービス事業」の業務委託契約を結んでおり、当センターも福祉の担い手をして期待されています。



↑介助する方も乗る方も初めての車いす体験でした

10月19日・20日の2日間

寺戸町 岸本 範子



シルバー人材での仕事の役割、分担について勉強させていただきました。

身近に介護を必要とされている方、車いすで生活されて不自由を感じておられる方と、さまざまです。

実際、車いすを動かしての体験もさせて頂き、見ているのと運転をさせて頂いていただいたのの違いを感じる事が出来ました。

先生による、わかりやすく、手を取りながらの指導、麻痺の方への「脱健着患」の大切さも知り、全部お手伝いをしては駄目。運動になるので見守りも必要。

声かけも「大丈夫ですか」ではなく、季節の話や外の景色の話をするとう喜ばれる。外の話を知らなかったら、相手に合わせてコミュニケーションをとり、会話を進める。接遇に気をくばり声かけする。言葉が大切である。無理はせず、YES・NOはハッキリと伝える事。

心をこめて挨拶。笑顔で対応できるように頑張ります。



新会員紹介

寺戸町 野邊地 開



10月に入会しました野邊地（ノヘジ）と申します。少し変わった名字ですが、青森県に同じ地名があるように東北地方の出身です。

1年前に伏見から向日市に移り住み、8月に仕事を辞めてブラブラしておりましたが、近所の方にシルバー人材センターのことを聞き、会員登録させていただきました。

初仕事として、展示会場の設営や巡回監視の仕事させていただいたばかりですが、先輩の皆様から今後とも沢山のご指導やご助言を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。



寺戸町 秦 楽是（ペンネーム）

「日々の糧」にと、10月にシルバー人材センターに入会しました。これまでイベントの受付や交通量調査の仕事につきましました。会員の皆様と一緒に仕事をする中で、社会参加を実感しています。

「毎日が日曜日」のような日常ですが、毎月始めには近所のお寺の門前に出向き「伝道掲示板」を拝読しています。含蓄のある言葉に納得感を得たり、反省したりします。

歳を重ねるごとに時の流れの速さを感じます。この時期に思い出します。十数年前、現役時代の新年会の席で某市商工会議所会頭の挨拶です。「新年は死んだ人を偲ぶためにある。心の優しいものが先に死ぬのは何故か、己だけが生き残っているのは何故かと問うためだ」（中桐雅夫）好きな言葉は「晴れても曇っても日々好日」（山頭火）

会員のひろば

学校管理業務、体によし、心によし

上植野町 日比野 寛



学校管理業務でお世話になってかれこれ10年になる。内容は、全教室と、校舎・グラウンドや体育館等施設の点検・戸締りである。

各教室や施設内を歩いて点検するので「良く歩く」。毎月15日程は勤務し、1日5〜8km程歩く。お陰で足腰も強くなり風邪も引いたことがない「体に良い」由縁である。

次に、児童達や先生方、施設を使用される方々等会う人に大きな声で「こんにちは」と挨拶するように心がけている。すると「こんにちは」「お疲れ様です」「お世話様です」と、また帰られる時には「ありがとうございました」「お世話にな

りました」と「お願いします」と元気な声が返ってくる。感謝の言葉を頂けるのは大変嬉しい、「心がよるこぶ」、「心によし」である。「体によし・心によし」このような仕事をさせて頂き、シルバー人材センターの皆様はじめ関係各位には心から感謝しています。

古都 歌謡祭 に参加して

寺戸町 平林 勇夫



昨年、11月3日錦秋の堀川通りを、何年か振りに歩きました。

作詞家の笠井光博先生主催のルビノホテルでの「古都歌謡祭」に参加致しました。

ゲストに歌手 西小路一葉さん（京都の歌手）他数名が参加されていきました。西小路さんが皆さんに私のことを紹介して下さいました。2020年に私の作詞した歌「向日ふるさと」の曲の成り立ち等色々として頂き「作詞 平林勇夫、作曲 西小路一葉」として「向日ふるさと」の歌を披露して下さいました。（すでにCDも発売中）最後に、西小路さんの新曲を披露させて頂きました。

大舞台が大変に盛り上がり、私も大変感動しました。

今後も「歴史の町・観光の町」向日市の更なる発展を、応援する一市民として、少しでもお役に立てれば良いと考えております。

シルバーに入会して

鶏冠井町 北中 貞夫



私は今年73才、会員になり丸2年が過ぎました。私の友人達は畑で野菜を栽培したり、ゲートボールをしたりと、余暇を楽しんでいます。それに比べ無趣味な私は、孫4人の保育園のお迎え手伝いが主な仕事、帰宅したらテレビのワイドショーを見るのが日課でした。しかし、孫も3年前に全員卒園！

そんなある日、JR向日町駅前前で偶然にも知人で会員のIさんと出会いました。シルバーのことを全く知らなかった私に「会員登録だけでもしたら」と勧められました。

この出会いがなかったら、シルバーとは無縁でIさんには大変感謝しています。

今、私は「資源ゴミ分別指導」が主な仕事で、雨降りの朝、又寒い日等、布団から出るのが嫌な日があり、現地に行くとならぬ者？による前夜に捨てられたゴミの山で腹立たしい事も多々あります。しかし、地域の方に「朝早くからご苦労様」と言われると少しは地域のお役に立っていると実感し「よし頑張ろう」と気合が入ります。シルバーでは80歳を超えて沢山の人が頑張っておられ正直ビックリです。又、仕事を通じて尊敬できる先輩と知り合えた事も嬉しい事の一つです。私も、「生涯現役」を目標に頑張りたいと思います。

南米エクアドル紀行

向日町 陰貞 博史



10年前、赤道直下の南米エクアドルへヒューストン経由で首都キトの小さな国際空港に到着。

いきなりポストンバッグが無い？どうやらバッグだけどこかの国へ。2日後に手元へ（手荷物だけで過ごす）そこからバスで2時間先住民族のいるオタパロへ、そこからまた知り合いのアントニオの住むペグーチェ村へ。そこでは、パウカライミ（水かけ祭り）があつて、小さな子供は水鉄砲で、大人はバケツに水でかけあう。女性から頭の上に水で濡れた花びらをか



のせられた。祭りの御馳走はクイというモルモットを大きくした生き物。

通りを歩いているとキイーキイーという鳴き声、振り向くと道端に繫いでいる豚を捌いていた。

インカの末裔でゴザが寝床で食事もゴザの上でとる、彼の家は裕福らしく木のベッドやシャワー（水）がある。玄関は鉄の扉で錠がしてある。どうやら、隣国のコロンビアから賊がやつてくるらしい。奥さんは川で洗濯をしていた。

夜通し祭りは続き、会場ではケチュア語とスペイン語で司会者が話している。音楽を流して踊りをする。雑踏の中、踊りに参加したら暗闇で顔に何か当たる。瞬間、眼鏡が顔から消えた。

村の女の子が木の実（毒）を食べて死んだという。別の都市では拳銃被害にあうという。（やれやれ…）

シルバーに入会して

寺戸町 今村 悦子



私に出来ることがあるのかなと不安を感じながら、5月に入会しました。

まず、高齢ご夫婦宅の家事手伝い、そして、学童保育所の指導員補助の仕事ももらいました。

今まで、自分がしていた掃除と違うやり方がある事、子ども達への接し方。この時代だからこそ先生方のご苦労など知らない事がいっぱいある事に気づかされ刺激を受けました。

これからも、初めての経験、新しい出会いを楽しみに色々なことを吸収していけたらと思います。

私の撮っておきの一枚



「うねり(畝)」

寺戸町 高原 修



「マスクで勢揃い」

森本町 南免羅 博計



「ニャンコちゃん」

寺戸町 夏秋 典行



「眼光するどく」

寺戸町 北川 新造

適格請求書等保存方式(インボイス制度)が導入されると

ご存知でしたか!?

配分金には、消費税が含まれています

請負・委任契約で就業(除草、剪定、生活支援サービス、子育て支援サービス等)されている会員の方は「個人事業主」になります。センターからの配分金は、全て内税扱いとなっており消費税が含まれています。「個人事業主」には、納税の義務がありますが、課税売上高(配分金の証明額)が1,000万円以下の場合「免税事業者」として納税義務が免除されてきました。

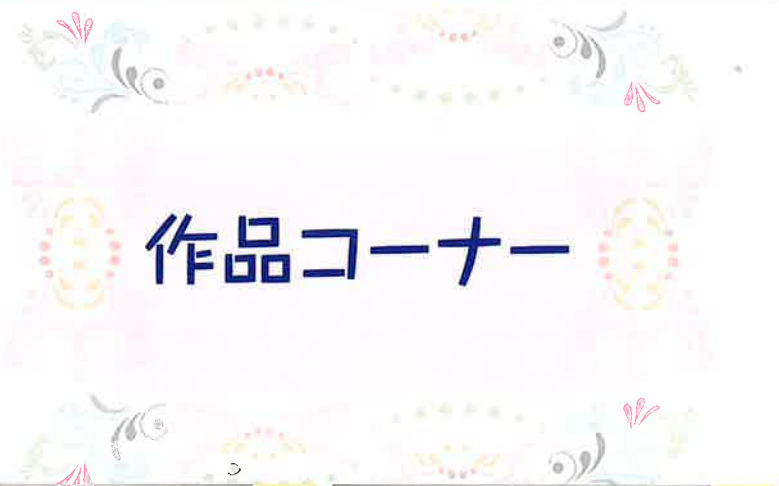
しかし、令和5年10月1日から「インボイス制度」が導入され実施されると、今まで内税としてお支払いしていた配分金から、消費税分の取扱いが変更される可能性があります。現時点ではまだ不明な点があるため、制度がはっきりした時点で、会員の皆様へ随時お知らせいたします。

■支払い配分金が910円の場合





「絵葉書」 寺戸町 久保田 和美



「絵葉書」

寺戸町 久保田 和美



「手芸」

鶏冠井町 中西 翠



「手芸」

上植野町 足達 由紀子

向日町	上植野	鶏冠井	寺戸	物集女
陰津丸平佐足植飯吉荒柿森永岡岸丁野菅山井伊垣上	貞田山井藤達村田永木崎川口崎本畑	和幹廣範	彌ノ賢恭一	史淳實薫隆子史明つ明勉子雄平子稔開雄昇子治子男

新しく仲間入りしたみなさん
(地域班別、令和3年8月〜12月入会順)

事務局だより

配分金の改定予定について (令和4年4月から)

昨年10月から、京都府の最低賃金が909円から937円に改定されました。

最低賃金は、会員の配分金には適用されませんが、当センターでは京都府の最低賃金を考慮し、また、発注者様のご理解を得る中で、会員の皆様への配分金最低単価を令和4年4月から増額する予定で進めています。(現行910円)

今後も、会員の皆様の就労条件の向上に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。

令和4年度年会費について

令和4年度年会費(3600円)は年度が変わる4月1日に発生します。退会をお考えの方は、3月末までに事務局へお申し出の上、所定の退会手続きをしてください。4月以降の退会お申し出には1年分の会費支払いが必要となりますのでご了承ください。

なお、継続会員の方には、5月頃に年会費納入の案内を送付させていただきます。

事務局だより

会報記事募集

センターでは、年2回発行の会報紙「煌」に掲載する写真・投稿記事を募集しています。写真・感想文・随筆・短歌・俳句・川柳など、会員の皆様のご応募お待ちしております。

履行確認書は速やかに提出箱へ

業務別に提出していただくように、引き出し付の箱を用意しております。

確認書提出の際には、記入間違いや漏れのないようにしてください。

就業後は速やかに提出いただきますよう、ご協力をお願いします。



※密をさけるため、当面、玄関前にも提出箱を設けています。

今後の行事予定

- ◆ 「交通安全講習会」 3月予定
- ◆ 「高齢者のスマホ教室」 2月予定

60歳以上の市民及び会員で希望者を対象に開催します。



会員の就業相談

会員になったが就業の機会が少ない方のために、就業相談日を設けています。お気軽にご相談ください。

- ❖ 日程…毎月第3水曜日
- ❖ 時間…午後2時～5時の間
- ❖ 場所…センター事務所

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

対象となる方
向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方

※入会申込みは、随時受け付けしています。
詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。

〈紹介キャンペーン〉

ご紹介いただいたお友達、お知り合いの方が、3月末までにご入会頂きましたら、ご入会頂いた方とご紹介いただいた会員の方へステンレスボトルをプレゼントいたします。



ぜひこの機会に!!

あとがき

あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、令和4年のお正月をどのようにお迎えでしょうか。

昨年を振り返るとコロナに明け暮れた一年でした。会員親睦旅行も2年連続で中止になり、楽しみにしておられた会員から落胆の声が聞かれました。コロナウイルス感染症は、今のところ落ち着いてはいますが、海外ではまだまだ感染拡大しており、このまま日本だけが無事終わるとは到底考えられません。

新しい変異株オミクロン株が、急増しており今後脅威になりそうです。オミクロンとはα(アルファ)から

始まるギリシャ文字の15番目の文字で、残りは9文字、最後はΩ(オメガ)だそうなんです。なんとか最後の文字に行き着くまでには終息してほしいものです。

コロナ禍での東京五輪が終わり、この2月には北京冬季五輪が始まります

ところが、いくつかの国は政治的ポイントを表明するなど、またまた新たな問題が、「平和の祭典」として純粋にスポーツを楽しみたいものです。

今年も、コロナに気をつけながら、会員の皆様と一緒に頑張っ乗り越りましよう。本年もどうぞよろしくお願

いします。

事務局長
業務係長
業務係

柴重信
大嶋夫
中幹雄
片岡康
上田奈津子
木下恵美子